

# 千葉県内事業所の衛生管理者の活動実態と その活性化に向けた千葉産業保健推進セン ターの活動強化指針の作成

主任研究者  
共同研究者

千葉産業保健推進センター  
千葉産業保健推進センター  
千葉大学大学院環境労働衛生学

相談員 本吉光隆  
所長 能川浩二  
准教授 諏訪園靖  
講師 小林悦子  
助教 土地実礼

# はじめに

- 衛生管理者は巡視を始め、多くの業務を遂行しているが、一方常に新しい知識を得る必要性がある。
- 産業保健推進センターは、このような産業保健スタッフへの支援として、各種研修、相談を実施している。

# 【はじめに】

- しかしながら、事業所の産業保健スタッフで最も多数である衛生管理者の、千葉産業保健推進センター（以下、産保センター）利用者数はそれほど多くはない。
- 本調査では、衛生管理者の産保センターに対する認識と、問題点を解明することを目的とした。

# 対象及び方法

- 対象者は産保センターから「千葉産業保健かわら版」を送付している1198事業所の衛生管理者(各社2名ずつ)である。
- 質問紙を郵送し、調査内容は、年齢、衛生管理者としての経験年数、事業場規模、産業保健スタッフの構成、産業保健活動への関与度、産保センターの周知度・利用度、千葉産業保健かわら版の周知度などである。
- トレンド検定にはCochran-Armitage検定を用いた。

# [ 結果 ]

- 483事業所より604枚の調査票を回収。  
(回収率は40.3%)
- 回答者の平均年齢は48.2歳
- 平均経験年数は6.9年
- 平均事業所規模は297名

# 産保センターの名称の周知状況

表1 年齢別産保センター周知状況(名称)

年齢	名前を知らない	名前を知っている
20-29歳	3 (33.3%)	6 (66.7%)
30-39歳	39 (36.8%)	67 (63.2%)
40-49歳	38 (23.5%)	124 (76.5%)
50歳以上	43 (16.9%)	211 (83.1%)
合計	123 (23.2%)	408 (76.8%)

- 回答者の年齢増  
「名前を知っている」が上昇
- 経験年数、事業所  
規模は有意な関  
連は無し

# 産保センターの活動内容の周知状況

表2年齢別産保センター周知状況(活動内容)

年齢	活動内容を知らない	活動内容を知っている
20-29歳	6 (66.7%)	3 (33.3%)
30-39歳	70 (70.7%)	29 (29.3%)
40-49歳	72 (53.7%)	62 (46.3%)
50歳以上	86 (39.6%)	131 (60.4%)
合計	234 (51.0%)	225 (49.0%)

■ 年齢、経験年数増 活動内容の周知度が上昇

表3経験年数別産保センター周知状況(活動内容)

経験年数	活動内容を知らない	活動内容を知っている
0-5年	153 (56.7%)	117 (43.3%)
6-10年	49 (48.0%)	53 (52.0%)
11年以上	32 (36.4%)	56 (63.6%)

■ 事業所規模は有意な関連は無し

# 産保センターの利用状況

表4 年齢別産保センター周知状況(利用状況)

年齢	利用なし	利用あり
20-29歳	6 (75.0%)	2 (25.0%)
30-39歳	86 (86.0%)	14 (14.0%)
40-49歳	101 (67.3%)	49 (32.7%)
50歳以上	143 (63.6%)	82 (36.4%)
合計	336 (69.6%)	147 (30.4%)

表5 事業所規模別産保センター周知状況(利用状況)

事業所規模	利用なし	利用あり
0-49人	16 (88.9%)	2 (11.1%)
50-99人	54 (81.8%)	12 (18.2%)
100-299人	151 (68.9%)	68 (31.1%)
300-499人	73 (68.9%)	33 (31.1%)
500人以上	39 (55.7%)	31 (44.3%)

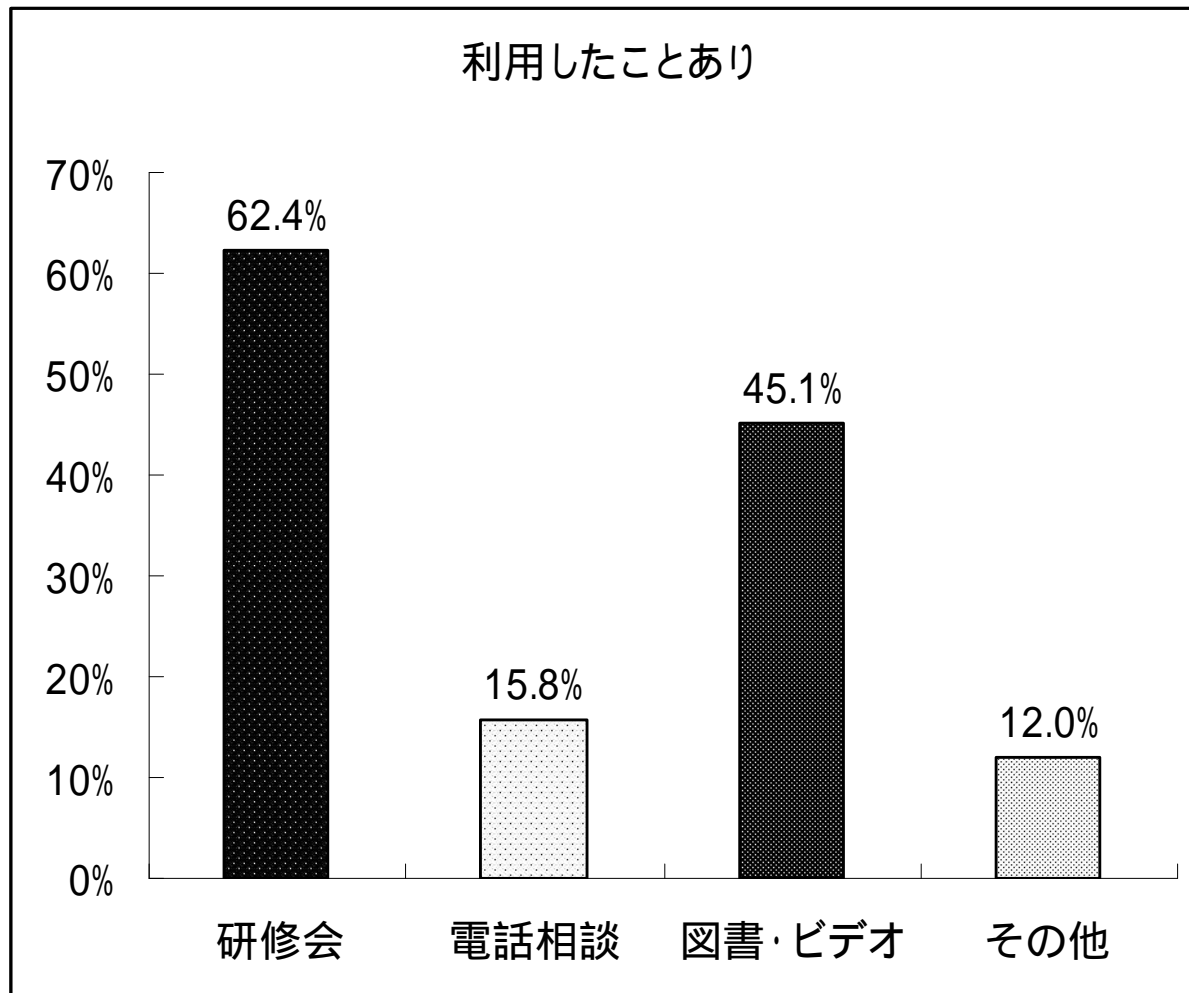
■ 年齢、事業所規模  
増

利用ありが上昇

■ 経験年数は有意な  
関連は無し

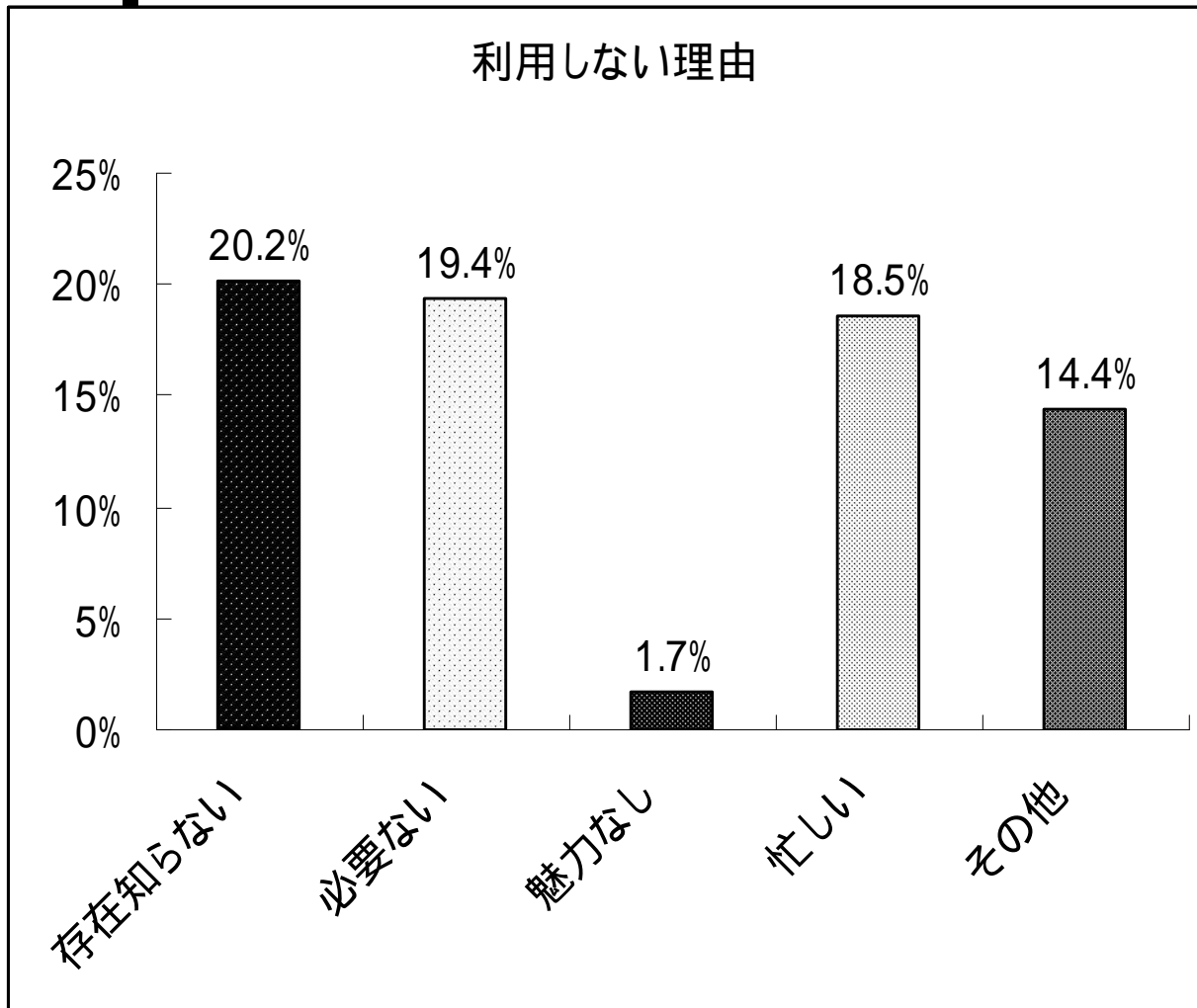


# 産保センター利用経験者133人における利用内容



- 最多は「研修会出席」
- 次は「図書・ビデオ等の借用」
- 「電話相談」は15.8%。

# 産保センターを利用しない理由 (複数回答可)



「存在自体を知らない」「必要性を感じない」「忙しい」など

「その他の理由」  
「興味のある  
研修と仕事のスケジュールの都合がつかない」  
など

# 「千葉産業保健かわら版」の周知状況

表6 年齢別の千葉産業保健かわら版の周知状況

年齢	読んだことがない	読んだことがある
20-29歳	6 (60.0%)	4 (40.0%)
30-39歳	60 (53.6%)	52 (46.4%)
40-49歳	63 (33.2%)	127 (66.8%)
50歳以上	90 (31.8%)	193 (68.2%)
合計	219 (36.8%)	376 (63.2%)

表3 経験年数別の千葉産業保健かわら版の周知状況

経験年数	読んだことがない	読んだことがある
0-5年	142 (40.5%)	209 (59.5%)
6-10年	47 (36.4%)	82 (63.6%)
11年以上	30 (26.3%)	84 (73.7%)

- 全体のかかわら版を「読んだことがある」率は63%
- 年齢、経験年数増「読んだことがある」が増加
- 事業所規模は有意な関連は無し

# 考察

- 千葉産保センターを利用しない理由  
事業所規模が関連：職場の人員不足か  
産保センターの業務内容や利用方法が十分に知られていないこと
- 産保センターの周知度  
年齢や経験年数が関連  
事業所規模はあまり関連しない
- 千葉産保センターの活動強化の指針として  
各種教育研修を継続実施  
センターの業務内容・利用方法のPRが重要

## まとめ

- 「千葉産業保健かわら版」を送付している事業所の管理者でも業務内容を知っているのは5割、利用者は3割であり、今後とも周知活動を重視する必要性が明らかになった。